

宮城から、伝えたいこと。

つながれ、どこまでも

Baton

バトン

VOL.

13

FROM MIYAGI

特集

〈食〉を起点とした 創造的復興

きて・みて

【語り部】語り部@山元町 山元町震災遺構 中浜小学校(山元町)

【伝承施設】名取市震災復興伝承館(名取市) 岩沼市千年希望の丘交流センター(岩沼市)

テーマ:

災害と 観光の復活

南三陸ワイナリーのぶどう畑

あしたのクリエイティブ「衛生用品防災備蓄自動販売機」

バトンとは

世代や地域を越えて広く「伝える」、リレーのバトンのように「つなげていく」という意味を込めています。
県内外や幅広い世代の方々が復興・伝承に興味を持ち、被災地へ足を運んでいただくことを目的に発行しています。



〈食〉を起点とした 創造的復興

特集テーマ

災害と、観光の復活

東日本大震災を契機に全国から多くの人が訪れた宮城県。ある人は災害ボランティアで、ある人は復興支援事業で、またある人は自治体の地域おこし協力隊として。彼ら彼女らは地域の魅力を再発見し、それによつて私たちも足元の宝物に気づかされました。ここでは〈食〉の観点から地場産業を興し、新しい観光のかたちを探る二人を紹介します。

観光とはその地の風土が生んだ「光」を「観る」こと。ときには旅人が、それまで誰も気づかなかった「光」を「発見」することがあります。

大災害を経験したここ宮城でも、外から迎えた災害ボランティアや復興支援事業のスタッフが埋もれた「光」を見出し、観光コンテンツとして息を吹き込んで地域再生を後押ししています。それは単にもとの形に戻す「復旧」ではなく、新たなものごとを興して未来を掴む「創造的復興」です。

南三陸町でブドウ栽培とワイン醸造・販売を手掛ける「南三陸ワイナリー」の佐々木道彦さんは、災害ボランティアの活動を重ねた経験から、地場産業の起業を実現するため移住しました。また、東松島市で「大地と海のカンパネラ Brewing」を立ち上げた大谷直也さんは、復興庁からの同市派遣を機に、被災農地で生産された大麦でビールを醸造・販売しています。

いずれも意識するのは生産から加工、流通、販売まで視野に入れた六次産業化。食材、景観、人の交流と、地域全体の確かな「光」を発信しています。

南三陸ワイナリー
代表取締役
佐々木道彦さん

海に見えるワイナリーから 新たな食文化と交流の種まきを

志津川湾の入り江にある南三陸ワイナリーにて。建物は東日本大震災後に建てられた仮設の水産加工場を活用。醸造工程を見学した小学生が「楽しかった」と話したことで、親御さんが訪れるようになったことも。

醸造5年目の グランプリ受賞

2020年秋にオープンした南三陸ワイナリーは志津川漁港のほど近く。醸造工程を見学できる醸造棟、ワインと地元食材を味わえるショップ&キッチン、展望テラスを備えた、「海に見えるワイナリー」です。春から秋は町内の童子山や田束山などでブドウを栽培し、収穫したブドウでワインを醸造しています。

2025年2月、代表取締役の佐々木道彦さんのもとに快挙の一報が届きました。ワイン業界で活躍する430人の女性が36か国3962アイテムのワインを対象に審査した「第12回サクラアワード」で、同ワイナリーの「DELAWARE ORANGE

2024」が最高賞（ダイヤモンドトロフィー）を受賞したのです。「事業計画の段階で周囲からよく『ワイナリーはそう簡単にできるものではない』と言われていたし、評価されるのは10年先だろうと覚悟していました。それに、オレンジワインは個性が強く出るため、好き嫌いがはっきり分かれる。それだけに受賞は励みになりました」。

災害ボランティアから 起業へ

山形県山形市で育ち、静岡県浜松市の大手楽器メーカーで長く社内ベンチャー的な部署に所属していた佐々木さん。震災翌年から毎月被災地を訪れ、災害ボランティア活動を続けるなかで、被災したまちが活気を取り戻すには新たな

事業を起こし継続させることが必要だと強く思ったそうです。そして2014年、方向性を探るため仙台市へ移住後、ものづくりを行う企業に転職。「そこで人気ワイン漫画の原作者監修のワイングラス制作に関わって、ワインへの興味が高まりました。ワインは誰かと一緒に楽しむものであり、地域の食文化と深くつながっている。また、ワイナリーはブドウの栽培から加工、販売までを含む六次産業化の典型でもある。そこで、ワイナリー設立を支援する『かみのやまワインの郷スクール』でノウハウを学ぶなど、事業化に向けて勉強を重ねました」。

一方、南三陸町では2017年に「南三陸ワインプロジェクト」がスタートしてブドウ栽培に着手。ワイナリー事



相手にするとはこういうことですね」。

海辺ならではの 楽しみを

当初からの課題は、町内の人とにかくワイナリーの存在とワインの楽しみ方を知ってもらうか。「南三陸では、ワインをあまり飲まないという人も多かったです。でも、地域のお祭りに出ていって、地元産のカキと一緒に辛口の白ワインを提供したら好評でした。地元の人にもっと親しんでもらえたら嬉しいですね」。

また、力を入れているのが「海中熟成ワイン」。ホタテの養殖用ネットにボトルを入れて海に沈めると、海中で熟成

が促進されてより美味しいワインができあがります。夏のワイン引き上げや、ブドウ畑を眺めながらワインと食事を楽しむ秋の「ブドウ畑でワイン会」は、体験型の人気イベントとなりました。

「モットーは、『よいと思ったら始める・よいと思ったら続ける』です。ワインと地域の食材を楽しむ文化を根付かせ、体験を通して南三陸ワイナリーのファンを増やしたい。そして人の交流を生みだしたい。今後はブドウ畑をトータル4ヘクタールに増やすほか、観光ブドウ園も視野に入れて町にある空き地で試験栽培をする計画です」。



設立までの出来事

業を実現する「地域おこし協力隊」の募集に、佐々木さんは手を挙げました。2019年1月の着任後すぐ会社を設立し、秋保ワイナリー（仙台市太白区）の協力で醸造したワインを販売しながら、2020年10月から自社施設で醸造を開始しました。

悩まされた 獣害と天候不順

移住の決断は災害ボランティアの経験があったからこそ。「災害ボランティアを通して自分の人生哲学と向き合った人は多いんじゃないでしょうか。私の場合、地域をどうしていくのか、自分に何ができるかを考えての結果で、一つ



ワインを引き立てる料理と共にワインを味わえるショップ&キッチン。ワインの有料試飲も可能で、町内の海産物を中心とした加工品も販売。



付着したフジツボがインパクト大の「海中熟成ワイン」。海中では波や船のエンジン音、生き物が出す音など、あらゆる方向からの微振動を受けてワインの熟成が早まるのだとか。

東松島産の二条大麦を材料に 地元の人に愛されるビジネスを。

復興庁からの 出向で東松島へ

東日本大震災で市街地の65%以上が浸水するなど、被災自治体のなかで最大規模の被害を経験した東松島市。農地の半分近くが被害を受けました。

大谷直也さんは出向先の復興庁から派遣されたのを機に東松島市に移住し、2021年8月に「大地と海のカンパネラ Brewing 株式会社」を創業。2025年1月から地元産の二条大麦「希望の大麦」100%のビールの醸造と販売を手がけます。それは技巧を凝らした「クラフトビール」というより、地元産原料に特化した「地ビール」です。「前職は大手飲料メーカーで、2014年から2年間東北支

社に勤務したこともあります。同じ頃、勤務先のグループが『一般社団法人東松島みらい』とし機構（HOPE）と連携し、『希望の大麦プロジェクト』をスタートしたんです。海水による塩害で以前のような作付けができなくなった農地で大麦を育て、その消費も応援する事業です。私は2019年に復興庁に出向してこのプロジェクトに携わりました」。

ミッションは、プロジェクトのクロージング。実績や知見を地域社会に実装し、国や大企業の支援を離れて地域産業が自立・自走できるしくみを構築する、そんな模索の始まりでした。

大麦に高付加価値を 与えるビジネスを

麦は国内自給率が低く、コ



3つの醸造タンクでそれぞれのビールを仕込む。初期発酵段階のビールはみずみずしい香り。



樹脂パルプと麦芽の副産物を原料としたエコタンブラー。店舗ではお好みに応じてこのタンブラーまたはグラスで提供する。

ジネスの事業計画を練りましたが、コスト面がネックでした。農家が生産した大麦に高い付加価値を与えて消費者に届けるにはどうしたらよいかを考え、アルコール嗜好品に的を絞りました。ウイスキーも大麦が原料ですが、製品化まで最低5年寝かさないとけない。一方ビールは麦芽を加えて数週間で製品になるのが魅力でした」。

復興庁の出向期間が終わると勤務先を退職して東松島市に転居。地域おこし協力隊として農家のマーケティングなどを手伝いながら起業の準備に取り掛かりました。そして盛岡市の地ビール会社で修行をし、2024年12月に酒造免許を取得。現在は市内3農業法人と二条大麦の栽培契約を結んでいます。

設立までの出来事



2025
東松島産の二条大麦「希望の大麦」100%のビール醸造と販売開始



2024
酒造免許を取得

2021
「大地と海のカンパネラ Brewing株式会社」を創業

2021
東松島市に転居。東松島市の地域おこし協力隊に着任



2019
復興庁に出向し「希望の大麦プロジェクト」に参加



2007
大手飲料メーカーに勤務（2014年から2年間東北支社に勤務）

自分はこんなにも何もできないのだと知ると同時に、逆に何者でもないからこそやれることがあると、面白がっている自分もいます」。

最終目標は東松島産二条大麦を農家の利益になるような高値で売ること。

「農家さんにいろんなことを教えられ応援いただきました。生粋の東松島人に愛されるビジネスを展開したいです」。

左から、「野蒜グアيس ヘラ」、「東松島ドルトムンダー デメテル」、「矢本ペールエール アテナ」。それぞれ地名とギリシャ神話の女神を組み合わせたネーミング。

高台移転してできた街、野蒜ヶ丘の一角にある醸造所兼飲食店「ピアベースカンパネラ」は、外からブルワリーの様子も見える。

東松島の名を売り 地元の消費も促進

全国展開する旗艦商品は『東松島ドルトムンダー デメテル』。ほかに主に地元で販売する『矢本ペールエール アテナ』と『野蒜グアيس ヘラ』の3銘柄があります。「商品名に市内の地名を入れることにこだわりました。実は東北勤務時代は東松島に来たことがなかったんです。全国的にそう知名度が低い東松島の存在をアピールし、こんなビールがあると広く知ってほしいという思いを商品名に込めました」。

醸造から販売まで一人で切り盛りするなか、課題は醸造技術の向上と販路拡大です。「道の駅 東松島」では広いスペースで展開していますが、大きな流通システムに乗せることや醸造以外の事業への進出は目指しておりません。

「地元のお店を一軒一軒飛び込みで営業して置いてもらっています。酒屋や飲食店に限らず、床屋さんでも八百屋さんでもいい。そこに来たお客さんに知ってもらえたら、話

何者でもない自分 だからできること

神奈川県出身の大谷さんが東松島市での起業を決断したターニングポイントとは――。「農家さんの仕事に直に触れることができたのは大きな体験でした。第一次産業はものづくりの根本です。大きなメーカーでマーケティングを担当するだけでは知り得なかった現場を見て、ものづくりをやってみたいと強く思いました」。

とはいえ戸惑う場面もあると言います。

「常に『あなたは何者か』を問われ、それに応え続ける毎日です。会社の看板がないと



こんな状況のとき、 車中泊避難を選択肢に入れてみよう

余震があり
自宅での就寝に
不安があるとき

熊本地震時に車中泊避難を選んだ人の中で、最も多かった理由が、「余震が続き、車が一番安全と思ったため」でした。余震で建物の倒壊の危険がある際には、車中泊避難を検討しましょう。

プライバシーを
確保したいとき

多くの人が集まる避難所では、周囲の人の話し声や足音が気になって落ち着かない、眠れない、などのケースも。プライバシーを確保しやすいのは、車中泊の大きなメリットです。

子ども、ペットが
一緒のとき

小さい子どもがいて避難所での生活が困難な場合や周りに気を使う場合、ペットがいて避難所に入れない場合に車中泊避難は有効です。

machico防災部員が 車中泊のシートアレンジを事前シミュレーション！

Step. 1

マイカーでどんなシートアレンジができるか把握する

車種やシートアレンジによって寝られるスペースが異なるので、実際にシートを倒してみるなどして、自分の車ではどうなのかをチェック。

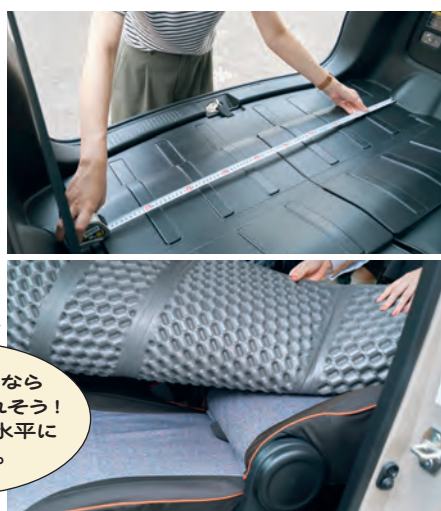


このスペースなら
問題なく寝られそう！
あとは足元を水平に
したいね。

Step. 2

車中泊における 基本の寝方を知る

1人が寝るのに必要なスペースは、奥行きが身長+10~15cm、幅が約55cm。自分の車でそのスペースが確保できるか確認してみましょう。



Step. 3

誰が寝るか、何人寝るか 想定しておく

5人乗りの車であっても、5人寝ることは物理的に不可能。自分の車に家族の誰が、何人寝るのか、どのように寝るのかをあらかじめ想定しておきましょう。



完成！



POINT!

- ◎どのようにシートアレンジできるのか知っておく
- ◎どこに、誰が、何人寝るのか想定しておく
- ◎実際に想定されるメンバーで寝てみる

想像していた以上に広々寝られる
シートアレンジができました！
普段はシートを倒す
機会がなく手こずったため、
もしまに備えて事前に
確認しておく大切さを感じました。

事前シミュレーション完了！

次はマイカー・家族構成に合わせて
アイテムを検討してみよう

machico防災部といっしょ

vol.
13

今回のテーマ

家族で車中泊避難
ってどう備えたら
いいの？



machico会員
(40代女性)



体験してみた人 /
machico防災部員
てん・ちー



教えてくれた人 /
『カーネル』編集長
大橋 保之さん

2016年の熊本地震を機に、注目されるようになった車中泊避難。エコノミークラス症候群などのリスクも伝えられていますが、事前の知識と備えがあればメリットも多くて安心できる避難方法です。

今回は、車中泊専門誌『カーネル』を通し、車中泊の楽しさを伝えてきた編集長の大橋保之さんに、車中泊避難について教えていただきました。

machico編集部(以下M)：大橋さんは車中泊避難についての啓蒙活動を行っておられるそうですね。
大橋さん(以下大)：はい。きっかけとなったのは、9年前に起きた熊本地震です。あのときは大きな余震が続いていたことから、車中泊避難を選択される方も多かったんですね。そんな中、車中泊をしていた方がエコノミークラス症候群により死亡するという事例が起き、災害関連死として大きく報じられたんです。報道を見て、車中泊専門誌に携わっている者として感じたのは、やり方さえ知っていればこんな悲劇は起きなかったのに、ということでした。
M：それで正しい方法を伝える必要性を感じられたのですね。具体的にはどんな活動をされていますか？
大：イベントやセミナーで講師として車中泊避難のポイントをお伝えしています。内容は、エコノミークラス症候群の危険性も含めた車中泊避難の知識を教える座学と、参加者に自家用車での寝方をレクチャーするシートアレンジ実践の2

車中泊避難について
大橋さんが
伝えたいこと



- 避難は、内閣府が定める指針及びガイドラインに従って行うこと
- 車中泊避難とは、「車で避難する」ことではなく、「避難場所として車を使う」こと
- 車中泊避難は、発災後、物資が届くまでの最低3日間(72時間)をしのぐ想定をしておくこと
- 状況によっては無理して車中泊避難をするのではなく、別の策も検討しておくこと

部構成であることが多いですね。特に実践には力を入れていきます。
M：なるほど。まずは自分の車について知ることが大事ということですね。
大：その通りです。ぜひ一人でも多くの方に、マイカーの状況も含めて、車中泊避難について正しい知識を持っていただきたいですね。そして、いざというときに車中泊避難を選択肢の一つに加えていただけたらと思います。

WHAT'S

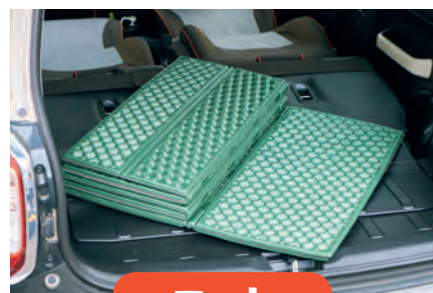
machico防災部とは

仙台・宮城の人とまちを元気にする地域コミュニティサイト「せんだいタウン情報machico」の編集部員が、防災・減災に役立つスキルを体験して発信する「部活動」です。

machicoから
アーカイブが
見られます！



車中泊のプロ直伝! 三種の神器



マット

できれば車中泊専用かキャンプ用のマットを準備したいところですが、他のもので代用してもOK。シートの凹凸を埋めたり、硬いラゲッジスペースの上に敷いたり、水平で寝やすい車内環境を作ることができます。



シェード(目隠し)

車用のカーテンやサンシェードなどで窓を覆うことで、外の視線を気にすることなくリラックスでき、プライバシー&防犯効果もアップ。安価な銀マットで代用する場合、厚さが5mm以上あれば断熱効果も高く、外の冷気もシャットアウトできます。



寝具(寝袋)

寝具の中でもおすすめは、アウトドア用の保温性が高い寝袋。中綿の種類や快適温度帯にも注意して選びましょう。車で寝る人数分をそろえておくのがベストです。

他にもこんなアイテムがあると便利!

補修

- テープ類
- 針金
- マルチツール
(ナイフ、ドライバーなどがセットになったもの)

生活

- ウェア類
- 圧縮袋
- LEDライト

飲食

- 飲料水
- 非常食
- マッチ&ライター

衛生

- 携帯用トイレ
- ウェットティッシュ
- トイレットペーパー

家族で話し合いながら書き出してみよう!

一緒に避難する人は誰?何人?

マイカーの台数、車種は?

どんなシートアレンジができた?どの車で何人寝られた?

どんなアイテムが必要だった?上のリストを参考にアレンジしてみよう

ローリングストックの入れ替え日を決めてみよう
衣類・寝具は…

食料・水は…



車中泊避難に備えて知っておこう

エコミークラス
症候群
対策をしっかりと!

足や下半身などにできた血栓が、血流に乗って肺動脈に詰まり、呼吸困難やショック、時には死に至ることもあるエコミークラス症候群。同じ姿勢を取り続けていると、健康な人でも数時間で発症するおそれがあるので注意が必要です。できるだけ足を上げて心臓と同じ高さにして寝る、就寝時の体勢をマメに変える、適度にストレッチやマッサージをする、こまめに水分を摂る、などの対策を。

シーズン別の
リスク
に備えよう!

暑い時期の車中泊には特効薬と言えるものではありませんが、標高の高い場所、高緯度の場所などできるだけ涼しい場所を選び、サーキュレーターやスポットエアコンなどで対処しましょう。逆に寒い時期は、衣類を着込む、窓からの冷気をシェードで遮断するなど、準備しているアイテムでしのげる場合が多いです。

命
より大切なマナー
はない!

レジャーでの車中泊はアイドリングストップがマナー。車中泊避難の場合も基本はアイドリングストップですが、夏場の熱中症、冬場の低体温症など、体調に異常をきたすおそれがある場合には、迷わずエンジンをかけて冷暖房を入れましょう。ただし、積雪時のアイドリングは一酸化炭素中毒の危険があるので、冬場は雪の状況をチェックすることも大切です。

こんな事前準備も大切です!

まずはレジャーで
車中泊を試みる!

まずは車中泊がどんなものなのか、レジャーとして体験してみるからスタートを。快適に過ごせるキャンピングカーをレンタルするなど、低いハードルから始めてみましょう。

子どもやペットを
車中泊に
慣れさせておく!

災害時に初めて車中泊を行うケースでは、特に子どもやペットはいつもと違う状況に興奮や不安を感じて落ち着かなくなることも。普段から車中泊に慣れさせておくことが大切です。

家族で
車中泊避難について
話し合っておく!

車中泊を含めた災害時避難について普段から家族で話し合っておくことは重要なこと。車中泊のイベントやセミナーに参加する、家族でリストを出し合いながら車に積むアイテムを買いに行く、など楽しみながら取り組むのがおすすめです。

日頃から
ローリングストックを
習慣に!

車内での「ローリングストック＝車内に積んでおくアイテムの定期的な点検・交換」。衣類や寝具は季節ごと、食料や水は車検のタイミングで、など、決まったサイクルでの点検・交換を。家族構成等の変化に合わせてアイテムをアップデートするのも忘れずに。



レジャーでの車中泊とは違い、大きな不安やストレスを抱えた状態で、行方不明時の車中泊避難。日ごろからリスク対策を行い、必要なものを車に積んでおくなど備えをしておくことで、いざというときにスムーズ&快適に避難生活が送れます。

監修 『カーネル』編集長 大橋保之さん

語り部

遠藤てまりさん

(大学3年生)

貫洞美月さん

(大学3年生)



〈山元町〉

みて

施設①

キ-ワード □津波被害を知る □証言を聞く □避難を考える □復興を感じる

語り部紹介
@山元町

山元町震災遺構 中浜小学校

**事実の伝承だけでなく
未来の命を救う役割**

海岸から約400メートルの位置にある山元町立中浜小学校は、津波や高潮への懸念から、2メートルかさ上げし建設されました。東日本震災で校舎を襲ったのは、2階建て校舎の屋上に迫る10・2メートルの津波。当時校舎にいた児童や保護者、教員、地域の方々は屋上に逃げ、90名全員が無事に避難しました。現在は、震災伝承と防災の意識醸成を目的に震災遺構として一般公開されています。

床がめくれ、壊れた備品が散乱する1階、ジオラマやパネルが展示された2階、避難者が一夜を過ごした屋根裏部屋など、校内を回り当時の様子と未来への教訓を伝えるのは、「やまもと語り部の会」の一員として活躍する、遠藤てまりさんと貫洞美月さん。2人は、見学者の興味を引くように、会話を交えて解説します。「最初に先輩方から話を聞き、マニュアルをもらったときは、あまりの情報量の多さに、限られた時間内でど



臨場感のある詳しい説明に、参加者から「ここで生まれ育った方ですか?」と聞かれる遠藤さん。



DATA 山元町震災遺構 中浜小学校 ●宮城県亘理郡山元町坂元字久根22-2 ☎0223-23-1171 ●9:30~16:30(最終入館16:00) ●月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/28~1/4)※3/11、9/1、11/5は特別開館日 ※一般400円/高校生300円/小中学生200円(特別開館日は無料) 🌐<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/>

う伝えるか戸惑いました」と2人。福島市出身の遠藤さんと東京出身の貫洞さん。津波で被災した経験はなく、震災当時は幼稚園児。「当事者ではない私たちが『語り部』をして、見学者に臨場感を持って伝えられるだろうか」という葛藤もあったと言います。

「ここには、県外の方や若い方も多く訪れます。私が語り部をすることで、『被災していない自分たちも、現場を見て被災者に寄り添っていいんだ』という気持ちになってもいいでしょう。事実を語るだけではなく、どう命を守るのか考えてもらうことも大事にしていきたい」と遠藤さん。貫洞さんも「校舎に到達した10・2メートルの津波、



参加者の視線を誘導しながら、この場所から読み取れる様々な情報を伝え、参加者からは「聞きごたえがあった」との声が聞かれた。

一晩ここで過ごした子供たちの心細さが具体的にイメージできるよう、見学者が住む地域や年齢に合わせた例を出しながら話しています。自分事として考えてもらうことに語り部の存在意義があると思うんです」と話します。2人は大学卒業後も、語り部活動を続けるつもりです。



vol.13

宮城県とアース製薬株式会社の包括連携協定による取組 衛生用品防災備蓄自動販売機

行政×民間企業の実力
地域の防災力を高める

仙台港のほど近くにあるコンベンションセンター「夢メッセみやぎ」。自動販売機が並ぶスペースの一角に、「衛生用品防災備蓄自動販売機」が設置されています。この自販機は、平時には通常の自販機としての機能に加え防災情報などを発信する広報媒体として、災害発生時には備蓄庫として活用されることを目的としたもの。2022年2月に宮城県と包括連携協定を結んだア



ゴミ箱上のデッドスペースを衛生用品の備蓄庫として活用。災害時には、施設管理者による手動操作で商品を取り出すことができる。

ス製薬株式会社の提案により、防災対策の取組として東北エリアに初めて設置されることになりました。取組のきっかけや工夫について、新価値創造本部啓発プロモーション部の加藤 伝さんにお話を伺いました。

「アース製薬が属しているグループのひとつ・大塚ウェルネスペンディングでは、以前からライフラインベンダーと呼ばれる災害対応自販機を提供してきました。ライフラインベンダーには熱中症対策にも効果的な飲料水や栄養補助食品などを在庫していますが、その横に備蓄倉庫を設置し、簡易トイレや手指洗浄液、個包装の口腔洗浄液、マスクを加えました。グループ企業がそれぞれにアイデアと商品を持ち寄ることで、これまで以上に防災に特化した自販機となりました」。

インフラの一つとして
自販機にできることを

災害時には自販機内にある在庫と備蓄された衛生用品を無償で提供。支援物資が届くまでの時間をしのぐことが目的であるため個数に制限はあるものの、宮城県復興・危機管理部防災推進課の島守秀人さんは「飲料だけでなく、食品や衛生用品も備蓄することができこの自販機が、コロナ禍以降、避難所等での感染症対策を考える中で解決策のひとつになりました」と話します。全国各地で発生した自然災害やパンデミックでの経験も踏まえ、今まで以上に衛生用品の必要性が高まる防災対策。そうしたニーズに応えるべく、現在は宮城県内2カ所のほか全国各地に設置が広まっています。



令和6年2月に、宮城県、アース製薬株式会社、一般財団法人みやぎ産業交流センターによる設置発表会が行われた。設置場所は「夢メッセみやぎ」本館展示棟コンコース(所在地:宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7)。

し、防災に関する情報発信を行えることも大きな特徴です。「夢メッセみやぎ」にある自販機にも、防災意識に訴えるメッセージが掲示されています。「実はこのアイデアは、自治体との協議の中でそのニーズを汲み取ったことで生まれまし」と語る加藤さん。「自販機

が街中に数多く設置され、生活になくてはならないインフラのひとつとして認知されているからこそ、情報発信の役割も担ってほしいという提案がされたのだと思います」。

「自販機に防災機能も組み合わせれば、より社会性のあるものにできます」と加藤さん。島守さんも「災害時に行政にできることには限りがありますが、民間企業の方々からご協力をいただきながら、宮城県の皆さまに役立つ防災対策を展開していきたいです」と展望を語ります。



交流センター内には、岩沼市の復興のあゆみを知ることができる年表パネルや植樹活動等の写真が多数展示されており、多言語の動画も上映されている。

施設③ キーワード ▶ ☐津波被害を知る ☐証言を聞く
☐復興を感じる

岩沼市 千年希望の丘 交流センター



シンボルでもある慰霊碑。その高さはここを襲った津波と同じ8メートルで、中心の鐘には「鎮魂・記憶・希望」の3つの意味が込められている。

問 一号丘を除くほかの避難丘には一時避難場所としての機能があります。どのようなものが備えられているでしょう。

答



DATA ◎宮城県岩沼市下野郷字浜177 ☎0223-23-8577 🕒9:00～17:00 📅火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/26～1/7) ♫無料 📄<https://sennen-kibouno-oka.com/>



最も海に近い「1号丘」には、海岸線と貞山堀、かつてこの地域にあった6つの地区の位置関係が示されたモニュメントと時計があり、街並みの変化を実感。



津波堆積物の実物展示。様々な災害の歴史を間近で見ることができる。

千年先の未来のために
祈りを捧げ、災害を学ぶ

岩沼市の沿岸部約10kmにわたって整備された6つの公園と14基の避難丘。その総称が「千年希望の丘」です。丘と丘をつなぐ園路を囲む樹々は、全国のボランティアが植樹したもの。十数年後には森となり、津波の威力を分散させる「緑の堤防」へと育ちます。ここは、祈りの場であるとともに、ひとりでも多くの命を守るためにつくられました。広大なメモリアルパークをめぐるながら、津波の威力を体感し、命を守るための行動を考えるきっかけにしてみてください。



ジオラマは道路や家並みを精緻に再現。当時の姿が手書きの付箋から読み取れます。

施設② キーワード ▶ ☐津波被害を知る ☐まちの歴史を知る ☐復興を感じる

名取市震災復興伝承館

東日本大震災を知り、
命を守る方法を考え学ぶ

名取川と貞山運河の交差点、防波堤と同じ高さ7メートルにかさ上げされたかつての住宅地に名取市震災復興伝承館があります。フロア中央を占めるのは、かつてのまちを再現したジオラマ。当時の被害状況を解説するパネルや、そこからの教訓、防災や避難のコツを伝えるパネルも充実しています。職員の方は「窓から景色を見て、ここがどんな場所であるかを感じてみてください。水害などでの水の脅威から命を守るためのポイントを、体感しながら学んでもらえたら」と案内してくれました。



東日本大震災の被災状況を知るだけでなく、そこから学んだ避難のポイント等の情報も充実。



DATA ◎宮城県名取市関上東1丁目1-1 ☎022-393-6520 🕒9:30～16:30(4月～11月)、10:00～16:00(12月～3月) 📅毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3) ♫入館料無料 📄<https://www.natori-denshoukan.jp/>

問 水深30cmの場合、何kgの水圧がかかるでしょう。施設内に設置された「水圧体感ドア」の重さを体感してみてください。

答



水害が起きた際に水圧を受けながら歩くのがどれほどの重さなのかを、かんじき型の重しを身に着けながら体感できる。



災害体験VRゴーグルを設置。地震体験、津波体験、風水害体験の3つのコンテンツが収録されているので、そのリアルな映像を見ながら、自分が災害に遭った時にどう命を守るかをシミュレーションしてみてください。

きてみてマップ

きてみてで紹介した施設のほか、
特集・あしたのクリエイティブで紹介した場所も
記載しています。

立ち寄りスポット

1 ゆりあげ港朝市／ メイプル館



約40の鮮魚店や飲食店が並び、日曜10時から誰でも参加できる「せり市」を楽しめます。買った魚介をその場で食べられる「海鮮炉端焼き」も人気です。また、「メイプル館」では、新鮮な魚介を使った海鮮丼が楽しめるほか、地域の特産品を購入したり、震災からの復興について知ることができます。

DATA ◎宮城県名取市関上東3丁目5-1 ☎022-395-7211 ●毎週日曜・祝日の6:00～13:00(ゆりあげキッチン&ギャラリーメイプル館は月曜～土曜10:00～16:00、日曜・祝日6:00～13:00) 🚗木曜

2 名取市サイクル スポーツセンター



サイクリングロードのほか、スケートボード場や3×3バスケットコート、フットサル場、子ども向け遊具などがありご家族でアクティビティを楽しめます。宿泊施設「輪りんの宿」では天然温泉の日帰り入浴も可能。

DATA ◎宮城県名取市関上宇東須賀2-20 ☎022-385-8027 ●4月～11月は9:00～17:00、12月～3月は9:00～16:30 🚗毎週水曜日(夏休み期間を除く)※「輪りんの宿」は営業時間が異なるため下記WEBで要確認 🌐<https://www.natori-cycle.com/>

3 深山山麓少年の森



2025年7月にリニューアルオープン。既存のBMXコースの改修や駐車場の拡張のほか、バーベキュー広場、芝生広場、イベント広場、人工芝そり滑り、どんろ遊び場、じゃぶじゃぶ池などが新設され、こどもから大人まで憩い楽しめる施設として生まれ変わりました。

DATA ◎宮城県亶理郡山元町山寺字新山85 ☎0223-37-3150 ●火曜～日曜・祝祭日の9:00～17:00 バーベキュー広場は10:00～16:00 🚗月曜日(祝日の場合は翌営業日が休み)、年末年始(12/28～1/4) 🌐<https://reserva.be/shonennomori>



宮城の復興の「いま」を
SNSでお伝えしています！
皆さまからの投稿も
お待ちしております！



LINE



Facebook



X (Twitter)



Instagram

Baton

発行元

宮城県震災復興本部(事務局:復興支援・伝承課)
〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 TEL:022-211-2443

